

『研究概要の情報公開文書』

岩手医科大学病理診断学講座では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせします。

研究課題名：

大腸腫瘍（腺腫，早期癌および進行癌）における microRNA 発現異常の解析

研究対象：

2008年～2018年（平成20年～平成30年）における岩手医科大学医学部内科学講座消化管分野または外科学講座で内視鏡的切除または外科的切除が施行された130症例〔腺腫50症例（高グレード25症例，低グレード25症例）および早期癌40症例，進行癌40症例〕を対象とします。

研究期間：倫理委員会承認日～平成31年3月31日

2) 研究の概要：

内視鏡または外科的切除が施行された検体から新鮮標本と分離腺管標本を採取し，DNA，microRNA (miRNA) の解析を行います。

3) 研究の意義：

大腸腫瘍発生の各過程における miRNA の発現異常について階層的層別化解析を行い，腫瘍発生の各過程における miRNA の役割を明らかにし，また，臨床病理学的因子との関連について解析します。

本研究により大腸癌の早期発見や再発のマーカーおよび分子標的治療薬の開発に寄与することが期待されます。

4) 本研究の目的：

(1) 分離腺管を用いることで腫瘍腺管そのものにおいて大腸癌についてすでに報告されている miRNA が従来通りの発現を示すのかどうか検討し明らかにします。

(2) 低グレード，高グレードの腺腫および早期癌，進行癌における miRNA の発現状態を解析し，大腸腫瘍発生の過程における miRNA の役割を明らかにします。また，臨床病理学的因子との関連について解析します。

(3) 大腸癌の miRNA を網羅的に解析し，大腸癌と関係する新たな miRNA の同定を試みます。

本研究では大腸腫瘍発生の過程における miRNA の役割を解明することを目的とします。

5) 本研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、治療のために内視鏡または外科的に切除された検体を試料として用います。患者さんの情報として、年齢、性別、身長、体重、採血検査データ、臨床病理学的因子等の個人を特定できないものを研究に用います。

採取された検体の情報として、採取部位、腫瘍の大きさ、広がり、血管やリンパ管への浸潤の有無、リンパ節転移の有無などを用います。また、病理診断が終了したあとの検体を免疫組織化学（特定のタンパク質を切片で染める方法）や遺伝子（DNA や RNA など）の解析に試料として用います。

本研究のために新たな検体を採取したり、新しい情報を収集したりすることはなく、患者さんに新たな負担や不利益が及ぶことはありません。

6) 個人情報保護に関する配慮：

本研究では個人情報および診療情報などのプライバシーに関する情報は、個人の人格尊重の理念のもと厳重に保護され慎重に取り扱われるべきものと認識し、プライバシー保護に努めます。

情報に関しては、個人が特定されないよう匿名化を行い、岩手医科大学医学部病理診断学講座にてインターネットを介さないパーソナルコンピュータを用いて行います。データ（対応表と解析データを含む）はデバイスに暗証番号を用い鍵のついた保管庫に保管します。

患者さん等からのご希望があれば、その方の解析情報は研究に利用しないようにしますので、いつでも下記の連絡先まで申し出てください。

6) 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：菅井 有（すがい たもつ）

岩手医科大学医学部 病理診断学講座

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

TEL：019-651-5111（内線 3695）

E-mail：tsugai(at)iwate-med.ac.jp

[(at)を@に変更してご利用ください]

研究事務局：佐藤 綾香（さとう あやか）

岩手医科大学医学部病理診断学講座

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

TEL：019-651-5111（内線 3695）

E-mail：ayakasato.imu(at)gmail.com

[(at)を@に変更してご利用ください]